

# 監 査 報 告 書

平成27年5月11日

社会福祉法人枚方市社会福祉協議会  
会長 高野 勝 様

社会福祉法人枚方市社会福祉協議会

監 事 豊 田 宣 彦

監 事 平 尾 賢 二



社会福祉法第40条及び社会福祉法人枚方市社会福祉協議会定款第13条に基づき、平成26年度における監事監査を下記のとおり実施したところ、次のとおりであったので報告します。

## 記

1. 実施日時 平成27年5月11日（月）午後1時30分～4時
2. 実施場所 枚方市新町2丁目1-35 枚方市立総合福祉会館 特別会議室
3. 立会人等 事務局長 寺島千鶴 次長兼在宅福祉課長 原田かおる  
総務課長 田中英邦 地域福祉課長 染林 薫  
総務課課長補佐 山中いずみ 会計担当 山本秋紗
4. 監査結果 次のとおり

事 項	意 見	指 摘 事 項
理事の業務執行状況	適正である	
法人の財産管理状況	適正である	平成26年度は株価連動債が満期償還を、また為替連動債が早期償還となった。理事会で検討の結果、地方債への買換を行っている。これにより1つの為替連動債（元本保証）以外全て公共債となった。基金や積立金の状況については、随時理事会・評議員会で報告されるなど、透明性に配慮されている。今後も安全性を最優先とした運用を行い、適正な管理を行われたい。

法人及び施設の業務執行状況	適正である	<p>法人の各職場のリスクの洗い出しを行い、衛生委員会などで報告し、改善を行うなどの取り組みが行われている。今後も継続してリスクマネジメントの取り組みを行い、安全な職場環境づくりに努められたい。</p>
法人及び施設の会計状況	適正である	<p>平成26年度より新会計基準への移行を行い、新たな経理規程に基づき適正に管理が行われている。</p> <p>法人全体の収支状況は、今年度赤字となっている。赤字の主な要因は福祉センターのリニューアル工事で休館となったため、人件費が法人の負担となったことや、総合福祉会館管理運営事業での水道光熱費の増加によるものである。27年度から総合福祉センターの指定管理事業者として管理運営が決定していることから、改善が見込まれるが、今後水道光熱費の高騰への対応策を検討するなど、赤字解消に努められたい。</p>
その他の状況	適正である	<p>26年度は新たにコンプライアンスポリシー等を制定し、職員研修も実施している。今後更に内部統制の強化に努められたい。</p> <p>26年度第5次地域福祉活動計画が策定された。経営戦略プログラム第2期と同様、積極的な推進に取り組まれたい。</p>
総括	適正である	<p>認定 ・ 不認定</p>